



平川市議会会議録

一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。
インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するか
QRコードをご利用ください。

一般質問

福祉安心電話事業

事業の現状と今後は

みづき さとし
水木 悟志 議員



議員 福祉安心電話事業の概要と現状、課題は。
答 事業は平川市社会福祉協議会へ委託して実施されています。一人暮らしの高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、緊急事態に24時間対応するもので、市全体の設置台数は77台です。固定電話の減少、通報に対応する協力員の確保が課題です。

また、24時間体制であることや責任の重さなどから、協力員の確保が徐々に困難となっています。
議員 緊急時の流れは。
答 緊急通報ボタンが押されるとコールセンターにつながり、通報者が状況説明をして、救急要請や協力員要請などが判断されます。緊急通報ボタンが押されても通話ができないときは、協力員や

市の社会福祉協議会へ駆けつけ要請があります。
議員 民間事業者が行うサービスもあるが、事業継続について市の考えは。
答 本事業には、悩み相談ができる機能があるほか、近隣住民等による支援・協力体制が整備されるメリットもあることから、民間移行は慎重に行いたいと思います。



取り付ける緊急通報装置

平川市の今とこれから 一般質問

今回は10名の議員が質問しました



平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが一般質問。

全質問項目は下表のとおりです。

議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約して記載しております。

質問事項	質問議員	ページ
福祉安心電話事業	水木 悟志	P6
中学生へのピロリ菌検査	水木 悟志	
豪雪による農業被害と対応策	福士 稔	P7
不登校児童生徒	福士 稔	
りんごの不受精花対策	福士 稔	
平川市20周年記念事業	齋藤 剛	P7
大雪時の対応	葛西 厚平	
ふるさと納税の寄附を活用した事業	葛西 厚平	
りんごの病害虫発生防止対策	葛西 厚平	P8
マイナ保険証の普及	葛西 厚平	
平川市デマンド交通「のらっさ」	齋藤 律子	
P F A S と水の安全	齋藤 律子	P8
会計年度任用職員と時間外労働	齋藤 律子	
地方創生2.0平川市の未来を切り拓くまちづくり戦略Ver.1	齋藤 律子	
市内外国籍者への支援	佐藤 保	P9
高齢者を地域で支える体制整備	佐藤 保	
小・中学生のスマホ利用	佐藤 保	
今冬の除雪体制	佐藤 保	
町会運営	葛西 勇人	
地域運営組織（RMO）	葛西 勇人	
地域コミュニティの将来像	葛西 勇人	P9
避難所環境の改善	中畑一二美	P10
小・中学校や体育館のトイレの洋式化	中畑一二美	
水道管の老朽化対策	中畑一二美	
認知症対策	中畑一二美	
平川市の道路施工・維持管理	北山 弘光	P10
5歳児健康診査（集団健診）	石田 昭弘	
保護者連絡システム	石田 昭弘	
豪雪対策	石田 昭弘	
除排雪について	石田 昭弘	P11

平川市20周年 記念事業



20周年を記念した
取り組みは

さいとう 剛 議員

議員 令和8年1月1日をもって、平川市が誕生して20周年を迎えることになるが、市では記念事業としてどのような内容を予定しているのか。

答 令和7年度に、平川市の魅力をPRする事業、市の魅力をPRする事業、20年の市の歩みを再認識する事業などの市制施行20周年記念事業を行うこと

とし、事業実施を検討しています。具体的には、記念式典や祝賀会を開催するほか、市制施行20周年を記念した動画制作や、当市の基幹産業である農業をテーマとした写真コンテストの開催、動物の姿に仮装した音楽家によるプラスバンドコンサートなどを開催する予定です。また、平川市の過去を振り返る写真展の開催

も予定しており、市制施行20周年となる節目の年を、市民の皆様とともに祝いをし、分かち合いたいと考えています。

議員 動画はどのような形で市民へ提供されるのか。

答 市ホームページやYouTubeなどの形態を予定しています。長期に閲覧できるよう配慮して対応したいと思っています。



写真コンテストやプラスバンドコンサートを予定しています

豪雪による農業被害と 対応策



一日でも早く再生できる
ような対応を求める

ふくし みのる 議員

議員 豪雪による農業被害は、雪解けで被害の全容が明らかになり、これまで以上の被害が見えると考えられる。市のさらなる支援策の考えは。

答 県主催の中南地域果樹会議で、4月中旬に県、JA合同の被害調査を実施する予定です。調査結果と国・県の支援事業を踏まえ、農業者からの要望を整理して検討し、

今後も農業者の生産意欲を低下させないよう、支援策を検討します。

議員 山間地域では味のよいりんごが多く生産されることから、早急な対応が必要と考えられる。各関係団体と連携した除雪体制の状況は。

答 農道除雪組合などと調整し豪雪時の協力体制が整うよう努めています。

議員 豪雪被害災害救助

法が適用される状況では特例を設けて対処する必要があると考えられる。補植苗の対策も検討し、まずは早い対処が重要である。一日でも早く再生する形を望む。4月には放任園対策事業に集中する状況を念頭に、園地再生はあらゆる努力をして、生産量を落とさず山間地域の味のよいりんごを残すことが基本と考える。



被害のあった果樹

PFASと水の安全

命の水の安全の確保を

さいとうりつこ
齋藤律子 議員



議員 当市の水道水は、平賀、尾上地域は津軽広域水道企業団から、碓ヶ関地域は久吉ダム水道企業団から供給されている。両企業団のPFAS^{※2}の検査状況は。

答 PFASの代表的な物質であるPFOA、PFOSを、両企業団とも年1回検査を実施しています。いずれも機器で測れる最低値未満です。

議員 小国、葛川地区の簡易水道、平六、大木平地区の小規模水道では検査を実施しているか。

答 現在は検査していません。

議員 市で管理している施設にも関わらず、検査を行わない理由は。

答 現在は検査の実施に法的義務がないためです。国では、定期的な水質検査や基準超過の改善策などを水

道法で義務付ける方針のため、国の法整備に合わせて実施する考えです。

議員 飲み水に対する市民の不安があるにも関わらず検査をしない政治姿勢に疑問を覚える。市民の不安を受け止め、安心のために義務化を待たずに検査するべきではないか。再度協議して、検査に向けて取り組んでもらいたい。



水質検査の採水の様子

りんごの病害虫発生防止対策

雪害より弱体化したりんごの基盤強化を

かさいこうへい
葛西厚平 議員



議員 りんごの大きな輸出先である台湾では植物検疫が厳しく、モモシンクイガの寄生が発見された場合は輸出が停止となり、りんご生産者にとって大打撃となる。モモシンクイガの発生を減らす対策として、県では令和6年度りんご病害虫防除暦の基準薬剤に交信かく乱剤コンフューザーR^{※1}を採用し、購入費用の2

分の1を補助している。市でもこの普及に向けた施策を行うべきと考えるが、市ではどう考えるか。

答 市内の設置状況は、JA津軽みらいのデータとなりますが平賀地域と尾上地域を合わせて設置率約25%、県全体でも約27%と低く、設置に手間がかかることや有効性の周知が浸透していなかったことが挙げられます。

一部の園地のみではなく多くの農業者のご理解、ご協力が必要ですが、考え方や経営方針はそれぞれ多用途であるため、面的実施は困難と考えています。市では、県の補助のかさ上げ支援は考えておりませんが、コンフューザーRの普及拡大に向けて、引き続き市ホームページやSNS等を通じて啓発に努めます。



取り付けたコンフューザーR

※2 PFAS

有害性が懸念される有機フッ素化合物群。

※1 交信かく乱剤コンフューザーR

害虫であるモモシンクイガの合成性フェロモンを封入したポリエチレン製チューブで、次世代の発生が減ります。

地域コミュニティの将来像



地域課題に対応する新たな支援体制の構築を

葛西 勇人 議員

議員 高齢化などの進行で地域コミュニティの中心となる町会は疲弊し、早急に新たな組織・支援体制の構築が求められる。当市が考える地域コミュニティの将来像は、

答 地域住民が主体となり、行政と協力して地域を支える仕組みを確立することが理想と考えます。そのために、町会など既存の地縁組織と地域運営

組織が互いに補完し合いながら、多様な地域課題に対応できる体制を整えることが必要です。当市は、町会や地域運営組織を「地域づくりのパートナー」と位置づけ、総合的な支援を継続するとともに、新たな地域運営組織の設立に際しては、地域住民との十分な合意形成を図るとともに、行政主導ではなく、住民が中



地域運営組織で行ったカーブミラー点検清掃の様子

市内外国籍者への支援



平川市の国際化につなげたい

佐藤 保 議員

議員 昨年の青森県内の外国人宿泊者数は過去最多となり、インバウンド新時代の幕開けと共に定住者も増加している。市内在住の外国籍者の状況について伺う。

答 住民基本台帳における外国籍の在住者は令和7年2月末現在、男性13人、女性95人の計108人です。在留資格は特定技能、技能実習、永住者などです。

議員 相談等を受けた場合、定住者へのフォロー体制はどうなっているのか。また、行政上の課題と対策は。



住民基本台帳の外国籍の在住者は108人います
(令和7年2月28日)

平川市の道路施行・維持管理

市の緊急時の対応は

きたやまひろみつ
北山弘光 議員



議員 埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故を踏まえた、本市の道路設計や維持管理の状況について伺う。

答 当市では地形や土質に応じた設計を行い、必要に応じて地質調査を実施しています。定期パトロールで異常を確認し、原因調査、復旧を行います。

議員 道路陥没が発見さ

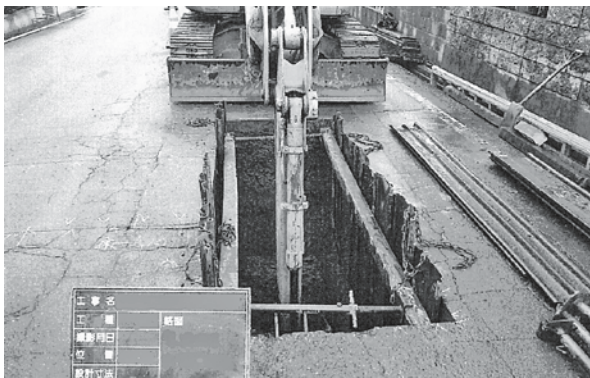
れたときの緊急時の対応は。

答 バリケードを設置し、人や車が落下しないよう二次被害の防止に努めて安全確保をします。次に、陥没原因を調査して復旧工事を行います。下水道管が原因の場合、大規模災害を除いては、バキュームカーを配備するなど、市民の皆さんの下水の使用制限をすること

なく対応する考えです。

議員 八潮市の事故を踏まえた、今後の道路維持管理の対策は。

答 道路の陥没は小さなものであっても事故につながるりうるため、パトロールを強化し、発見した際は早急な対応に努め、埋設物の管理者と協力しながら、適切な維持管理に努めます。



下水道工事で掘削している様子

避難所環境の改善

命と健康を守るため
避難所の生活環境改善を

なかはた ひ ふ み
中畑一二美 議員



議員 避難所となる小・中学校体育館の空調設備を進めるべきと考えるが、市の見解は。

答 熱中症などの健康被害対策のため普通教室への整備を進めてきました。体育館のほか、理科室などの特別教室は未整備のため、まずは設備の必要性の検討が必要です。国が新たに創設した空調設備整備臨時特例交付金は、

空調設備のほかに施設の断熱性確保の工事も必須であり、整備費用が高額になることが懸念されます。設置については総合的に判断します。

議員 防災備品の液体ミルクの備蓄やキッチンカーの整備をすべきでは。

答 令和6年能登半島地震等を踏まえ、青森県では災害備蓄指針を修正し、最低限必要な物資として

食料、飲料水、毛布、携帯・簡易トイレの4品目の整備から、粉・液体ミルクやおむつ等の17品目に見直されました。市では値段と保存期間等の粉・液体ミルクそれぞれのメリットを整理して備蓄を進めます。また、長期避難を想定して学校給食センターを活用することから、キッチンカーの整備は考えていません。



市の防災備蓄倉庫

議会miniコラム 鹿児島県曾於市議会行政視察受入

令和7年5月13日、曾於市議会のみなさまが「共助バス運行事業について、デマンド交通について」を視察されました。



視察報告

平川市議会

改修後の校舎を確認

5月14日、改築工事が行われた金田小学校新校舎を視察しました。金田小学校は昭和52年から50年間親しまれ、老朽化のため改築されました。旧校舎の解体、外構工事により、令和8年度に完了予定です。

調査の結果、魅力あるひとづくりの実現に向けた教育環境が充実しており、充実した学びの場が提供される校舎であることを確認できました。



金田小学校会議室にて



説明を受けている様子

金田小学校

除排雪について



消防団屯所前の置き雪の配慮を願う

いし た あきひろ
石田昭弘 議員

議員 交通量の多い県道弘前平賀線は、年始の大雪後の1月4日、道路が狭くなり両側がすり鉢状態だった。市はこの状態を把握していたのか。また、どのような対応をとったのか。

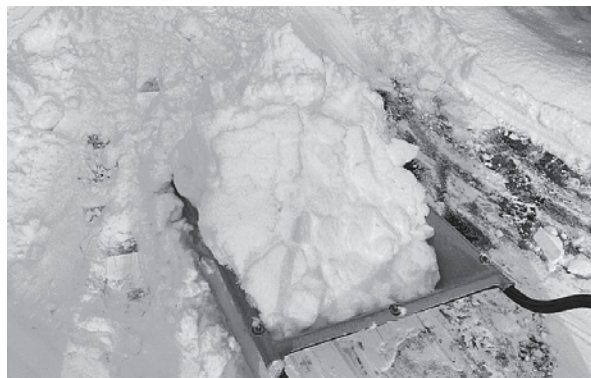
答 1月4日以外にも、食ラボの交差点から薬王堂の交差点までの区間で交通障害が起きており、市民からの苦情があり、

道路状況を把握している。現場確認後、中南地域県民局に道路状況を報告し、除排雪の要望をしました。

議員 12月23日大雪となり、屯所前には、除雪による寄せ雪、置き雪がうず高く積まれていた。団員は仕事をしていることからすぐに片づけられない。いつ起こるかも分からない火事などの災害、有事の際に即応体制がで

きるように、消防団所前には置き雪をしないように配慮が必要ではないか。

答 当市では除雪業者に、間口になるべく置き雪をしないよう指示している。しかし、全く置き雪をしないことは不可能です。で、一般家庭の間口と同様、置き雪については、今後も各消防団の団員等に対応してくださるようお願いします。



令和6年度の大雪は市民生活に大きな影響を与えました